

# 5 図書館の活用

図書館は大学の「心臓」です。図書館は、教育や研究、学習や読書に必要な図書、雑誌、視聴覚資料、電子ジャーナル、論文データベース、学位論文など、あらゆる学術情報を所蔵し、提供しています。古今東西の英知の集積する場所なのです。それは皆さんの方にも流れていきます。図書館を自由に利用できるのは、大学生としての皆さんの特権です。



5

図書館の活用

## 英知の集積する場所、図書館のサービスを活用しよう

図書館は中央図書館のほか、医学部に分館が、理学部、工学部、薬学部、スポーツ科学部にそれぞれ分室があります。大学図書館は、読書のための図書や雑誌を提供するだけでなく、世界中の資料や情報を集めたり、交換したり、まとめたり、発表して公開したりするところでもあり、そのための施設と設備を整えています。学生の皆さんはここで、書物や論文やレポートを閲覧し、活用して、自分自身の学問を深めていくことができます。

また、図書館はその建物を越えた広がりを持っています。研究室や自宅からインターネットを経由して利用できるオンライン・サービスも行っています。いつでも、どこからでも、携帯電話からでも、利用することができます。「FUポータル」から「福岡大学図書館」にアクセスすれば、あなた自身の学習計画や情報収集をサポートする「マイ・ポータル」を利用できるようにもなっています。

図書館は皆さんの資料探しや情報収集や学習の手助けもします。迷った時はいつでもたずねてください。電話でも、メールでも、インターネットでの書込みでも、何でも結構です。また、わかりやすい「福岡大学図書館利用案内」や「図書館報」といったパンフレットが利用のための手引きとして用意されているほか、図書館利用説明会も行われています。

## まずは図書館に行ってみよう

もちろん、図書館には、人と出会い、語りあう機会や、静かに書物と向き合い、思索にふけるための時間と空間が用意されています。くつろいで映画を観賞することもできます。まずは図書館に行ってみることから始めましょう。授業と図書館と、さらに友人や先生方といった人、その間を往復することで、皆さんは真の学生になって行くのです。